

令和5年度の重点課題

○新体カテットの総合評価のAB率 44.4%、DE率11.1%である。（(AB-DE)率33.3%）

○男女とも、「長座体前屈」、「20mシャトルラン」の2つの種目で県平均値かつ全国平均値より低い。

○男子は、「立ち幅跳び」、「ボール投げ」の2つの種目で県平均値かつ全国平均値より低い。

○運動習慣に関するアンケートによると、「運動やスポーツをすることは好き」の項目に肯定的に回答した児童の割合は83.5%であり、否定的に回答した児童の割合は、16.5%であった。引き続き体育の授業ではACPなどの楽しく体を動かす活動を取り入れていく。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 年間を通して準備運動に走のACPを取り入れた。（ふえ鬼、鬼ごっこ等）
- 男女ともに「持久力」に課題があるので、年間を通して、朝会時間にランニングを実施し、持久力の向上を図った。体を動かすことの喜びや楽しさ、達成感を感じられるように走った周回数を記録する持久走カードを作成した。
- 児童会を中心に全校遊びを実施した。（仲間づくりと体力向上を目指した集団遊び）

令和6年度新体カテットの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.60	18.40	32.40	42.30	48.10	9.82	137.20	24.70	52.30	第5学年	18.25	14.75	41.00	38.75	40.50	9.81	137.25	16.50	54.50

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体カテットの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.60	18.40	32.40	42.30	48.10	9.82	137.20	24.70	52.30	第5学年	18.25	14.75	41.00	38.75	40.50	9.81	137.25	16.50	54.50

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	50.00	50.00	0.00	0.00	第5学年	25.00	75.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

--

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 年間を通して準備運動にACPを取り入れる。単元に即したACPを授業冒頭で実施する。

体育の授業以外で行う取組内容

- 児童会を中心に全校遊びを実施する。（仲間づくりと体力を目指した集団遊び）
- 年間を通して、朝会時間にランニングを計画し実施する。
- 全校児童を対象とした意識調査をする。
- 家庭でも行うことができるACPの資料を配布し呼びかける。
- スマートフォンやゲームの使用について保護者にも通信等で啓発する。

重点課題

情意面での課題

- ・「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に肯定的な評価をする児童の割合は100%であった。しかし、「運動やスポーツをするときは、1日どのくらいの時間しますか」という項目で「1時間未満」と答えた児童の割合が50%であった。

体力面での課題

- ・「上体起こし」「50m走」「立ち幅跳び」に課題がある。
- ・5年生の男女とも、新体カテット評価がC以下の児童が半数を超えていた。
- ・5年生は体力合計点が高い児童と低い児童の差が大きく、二極化している。

令和7年度の重点目標値

- 自校のアンケート「私は運動をすることが好きだ」の項目において、肯定的に答える児童の割合を引き続き85%以上にする。
- 男女ともに「50m走」に課題がある。男子は「20mシャトルラン」にも課題がある。走力を高めるために走のACPを授業や遊びに仕組んでいく。また、令和5年度から始めた朝会時間のランニングと走った周回数を記録する持久走カードも引き続き取り組む。自分の走った周回数が見える化することで、体を動かす喜びや楽しさ、達成感を感じることができるようにする。
- 「立ち幅跳び」については、前回の学年平均値を上回るようにする。